



よろこび

2019.3.20 第120号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信



中川 義幸 新理事長

2019年1月25日に開催された第41総会期第1回年金局理事会において、年金局理事長に選任されました。その責任の重さに身の引き締まる思いであり、神さまのご加護とお導きを伏してお願い申し上げます。

またこの理事会を機に5人の方が理事、監事を辞されました。この方がたの献身的なご努力のおかげで今日の年金局があります。あわせて満腔の謝意を表したいと思います。

年金局の財政は、本来毎年の掛金収入によって隠退教師の皆さまへの年金支給が賄えるのが理想ですが、残念ながら今は到底賄いきれてはいません(いわゆるワニの口)。その賄いきれない不足額は、各教会、教区からの「謝恩日献金」と隠退教師を支える運動による「100円献金」という信徒の皆さまからの尊い捧げもので補うことにより、ようやくバランスをとっているというのが現状です。

さらに、長い間年金局と歩みをとめてくださった「隠退教師を支える運動」推進委員会の森啓一前委員長も第40総会期をもってお退きになりました。私どもと志を同じくする同志として大きなお支え

就任挨拶
—— 緊張感をもって、
誠実に、正確に ——
日本基督教団年金局 新理事長 中川 義幸

をいただき、感謝申し上げます。とともに、今後のご健勝をお祈り申し上げます。

さて、皆さまご高承のとおりに私どもは今激動の時代に足を踏み入れようとしております。教団はいわゆる2020年問題を目前にして、信徒数の減少、高齢化、信仰継承の停滞、献身者の減少と教師数の不足、教団全体の経済的基盤の弱体化などが顕在化しつつあります。

これらの教団の抱える問題は、年金加入者の減少及び献金額の減少という形となつてこの年金財政のバランスに大きな影響を与えるのは必定と憂慮しております。

また世界に目を向けてみると、我が国を含む世界的な低金利状況の長期化、混迷の度を加える米中の確執と貿易摩擦、先行きの見えないブレグジットの行方、ポピュリズムの台頭と一国主義の跋扈などが世界の政治・経済を揺さぶっております。

年金局は年金財政の健全性と将来の安心の確立に向けて、これまで営々として資産の積立とその運用を行ってきました。しかしながらこうした世界的な政治・経済の動揺は年金の資産運用に暗い影を落とすこととなります。現に主要な企業年金の2018年運用利回りは3%を超えるマイナストとなつたとの報道がありました。教団年金の運用利回りは、篠田前理事長が陣頭指揮

をとられる運用チームの奮闘により、2018年度はかうじてプラスを確保できる見通しですが、今のような経済の迷走が今後も続き、さらに悪化するようなことでもあればその影響は予断を許さないものがあります。

このように教団年金局は今、その働きの二つの側面で大きな荒波に襲われようとしています。しかしこれらの事態に直ちに対処し得る奇策や特効薬があるわけはありません。

現在年金局は先人のご尽力によりやや安定した運営が続けられています。しかしこれからも続く荒波の中にあつても毅然として立ち続け、制度の安定した維持運営を守るためには、緊張

感をもつて、誠実かつ正確に業務を遂行し、その働きざまと成果によつて、皆さまの信頼と安心感を獲得するための不断の努力を重ねていくことが必須であり、最強の対応策となると肝に銘じている次第です。

神さまのお導きと、皆さまのよきご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

(なががわ よしゆき
西東京・阿佐ヶ谷教区)

| 第41期 教団年金局理事・監事 | | | | |
|-----------------|------|---------|-------|-------|
| ()内教区・支区 | | *信徒 | ○常任理事 | |
| 理 | * | 稲垣 正策 | (北 海) | |
| | | 邑原 宗男 | (奥 羽) | |
| | * | 高橋 嘉男 | (東 北) | |
| | * | ○ 金刺 英雄 | (関 東) | |
| | | ○ 岸 俊彦 | (東 京) | |
| | * | 内堀 怜子 | (西東京) | |
| | * | ○ 中林 克彦 | (神奈川) | |
| | | 兵藤 辰也 | (東 海) | |
| | * | 野村 敏彦 | (中 部) | |
| | * | 奥野カネコ | (京 都) | |
| | * | 笥 正彦 | (大 阪) | |
| | * | 小笠原 務 | (兵 庫) | |
| | * | 佐藤 孝志 | (東中国) | |
| | * | 野口 菊義 | (西中国) | |
| 事 | * | 近藤 康夫 | (四 国) | |
| | * | 川畑 馨 | (九 州) | |
| | | 未 定 | (沖 縄) | |
| | * | ○ 中川 義幸 | 理事長 | |
| | * | ○ 篠田 安晴 | | |
| | * | 高橋 信夫 | | |
| | | ○ 秋山 徹 | 総幹事 | |
| | 監事 | * | 岩澤 嵩 | |
| | | * | 高花 富夫 | |
| | 支区代表 | * | 鈴木 優子 | (東) |
| | | 北川 正弥 | (西 南) | |
| * | | 浅見 英明 | (南) | |
| | | 秀島 行雄 | (北) | |
| * | | 奥山 盾夫 | (千 葉) | |



「隠退教師を支える運動・1000円献金」

年金資金の充実か、『クリスマス祝金』増額か

「隠退教師を支える運動」前推進委員長 森 啓一

ご承知のとおり、「隠退教師を支える運動」は1973年

の秋、旭川豊岡教会壮年会で

発議され、北海教区総会を経

て1978年の第20回教団総

会において、全教区規模での

信徒運動として展開すること

が決議されました。以来、今

年で40年間にわたり推進され

てきたものです。その間、2

010年2月には、2008

年度までの30年にわたる運動

の歩みを記録し、「先人たちの

祈りを次世代へと引き継ぐ」と

いう願いを込めて、30年誌

『夕べになって光がある』を

刊行しました。

ところが、それまでは、ほ

2017年度まで4年連続で

下降線を辿っています。

私は2013年度から大杉

弘氏の後を受けて推進委員長

を仰せつかりましたので、ちよ

うどその下降線が始まる時期

に当たったことになりました。

それまでは、単年度だけ下

がることはあっても、すぐ翌

年度には取り返して伸びを続

けてきたのに、連続2年以上

減少するのはかつてないこと

で、毎年一回推進員を集めて

開かれる『全教区推進協議会』

でも警鐘を鳴らしてきました

が、歯止めがかかりませんで

した。

参加者を増やす、献金額を増

やす）をお願いしなければな

らないところ、私の家庭事情

（家内の認知症進行）があつて

それも叶わず、池田浩二さん

（東京教区西南支区・霊南坂教

会員）に委員長を代わって

いただくことになりました。

顧みれば、私がこの運動の

事務局長を仰せつかった20

09年1月以来、献金総額の

減少もさることながら、この

運動がそもそも何のためにあ

るのか？ 教団年金が隠退教

師の生活を支えるために充足

したのなら、教団年金原資を

支えることに全力を集中する

はどう違うか、との問いも、

それと関係します。これに対

しては、「前者は《教会の祈り》

であり、後者は《教会員の祈り》

である」とお答えしています

が）最近の推進委員会でも「献

げられた献金は全部教団年金

局へ拠出するべきだ」という

意見と、「それでは教会の財政

事情のため教団年金に加入で

きなかつた先生を置き去りに

することになるからよくない」

という意見のぶつかりあい

が続いてきました。

現在、『クリスマス祝金』は

教団年金を受けておられない

先生方、ご遺族（配偶者）に

業務室より

— 年金を受けている方へ — 年金送付のお知らせ

4月の定例送金のご案内をします。

送金内容

①謝恩金受給者

2019年度第1期分給付額
(2019年4, 5, 6月分)

②退職年金受給者

2018年度第4期分給付額
(2019年1, 2, 3月分)

送金日 2019年4月10日(水)

期日に、ご指定の金融機関に入金されていない場合は、ご連絡ください。

次回送金 2019年7月10日(水)

住所・年金振込先の変更は、できる限り早急に書状、FAX、メールで年金局にお知らせください。

☆第41総会期第1回年金局理事会

1月25日(金) 教団会議室にて各教区理事、監事、総幹事、東京教区支区代表など30名の出席で開催されました。3時間半でしたが教団年金について認識を高める話し合いができた理事会でした。新理事長には中川義幸兄(西東京・阿佐ヶ谷教会信徒)が満場一致で選任されました。今総会期の理事・監事は2頁をご覧ください。

☆理事会メンバーの交代もあり新理事長のもと新たな歩みを始めています。世界の動きが激しく教団年金財政にとっても厳しい時代は続くでしょう。篠田安晴前理事長が資産運用諮問委員長の労を執ってくださいることに深く感謝します。

☆2007年4月から12年間業務室長を務めさせていただきましたが、3月末日をもちまして、後任の村山めぐみさん(西東京・阿佐ヶ谷教会信徒)に引き継ぐことになりました。理事会の皆さま、教区事務所の皆さま、直接お会いできなくてもお話しできた多くの先生方、ご家族の皆さまとの繋がりは私にとって大きな賜物です。お支えにより、大過なく務め終えられることを心から感謝申し上げます。今後も教団年金に変わらぬご協力とお支えをお願い申し上げます。(櫻井淳子)

《2019年度現況届》提出のお願い

今月は「2019年度現況届」をご提出いただく月です。同封ハガキをご確認ください。

- ①変更事項欄の有・無、変更のある場合は訂正事項をご記入ください。
- ②9月に発行される受給者名簿に氏名、住所、電話番号の記載を希望されない方は現況届の該当欄に☑をつけてください。

以上をご確認の上、同封の個人情報保護シールを貼り、ご返送ください。

投函期限 3月31日(日)

※このお知らせを受け取られましたらご記入の上、すぐにご投函ください。

《ご注意》

6月24日(月)までにご提出が無い場合、現況の確認ができませんので、7月10日以降の送金を止めさせていただきます。その後確認でき次第、送金を再開します。

日本キリスト教団 年金局 「隠退教師を支える運動」推進委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
年金局 Tel: 03 (3202) 2080
Fax: 03 (3202) 2081
mail: nenkin@clock.ocn.ne.jp
支える運動 Tel: 03 (3202) 2081 (Fax 兼用)
mail: sasae@flute.ocn.ne.jp